

「スーパージュニア選手育成プログラム2024」 第2回体験プログラム

7月27日(土)、広島市安佐北区のコカ・コーラレッドスパークスホッケースタジアムにおいて、第2回目の体験プログラムを開催しました。今回の体験競技はホッケーです。



指導してくれたのは、日本リーグや国民スポーツ大会で活躍し、パリオリンピックでも多くの選手が日本代表となっているコカ・コーラレッドスパークス女子ホッケー部の選手の方です。忙しい中でもご協力いただき、丁寧にやさしく指導していただきました。



ホッケーは普段あまり経験する機会がないので、ほとんどの選手が初体験だったのではないのでしょうか。まず、ホッケーの基本的なルールや道具の使い方を教わった後、まずは選手と一緒にウォーミングアップをします。そして、いざ、グループに分かれて練習です。

慣れないスティックを持ってリフティング、ドリブル、パスを教してもらいますが、なかなか上手くいきません。ホッケーのスティックは片面しか使えず、右利きも左利きも同じスティックです。

レッドスパークスの選手を見ていると簡単そうに見えますが、実際にやってみるととても難しいですね。

スティックを使って、ボールをすくいあげる練習もしました。少し慣れてきたところで、次はシュートとドリブルの練習です。シュートの練習では思い切り空振りをしてしまう姿も多くみられましたが、練習終盤ではゴールに突き刺さるようなシュートが打てるようになりました。ドリブルの練習では、力加減が難しいのかすぐにボールが遠くに行ってしまうと上手に進めませんでしたが、レッドスパークスの選手のアドバイスのおかげで、スムーズにドリブルができるようになっていました。



最後はお待ちかねのゲームです。男女別のチームに別れてゲームを行いました。最初は、どうしてもボールに人が集中してしまい団子状態でなかなかゴールが決まりません。他のチームが試合をしている様子を見ながら作戦を立てたり、レッドスパークスの選手の明るく・楽しく・分かりやすいご指導のおかげで、だんだんとコツをつかみ、初心者選手ばかりとは思えないほど、良い動きがゲームの中で見られるようになりました。互いのチーム力が拮抗し、攻守が激しく入れ替わりながらの手に汗握る試合展開を繰り広げていて、とても良いゲームをしていました。ジュニア選手たちは、周りの仲間と連携してゴールを目指すことや、フィールドを広く使う大切さなど、チームゲームの面白さを味わうことができたのではないのでしょうか。ジュニア選手たちは普段なかなか体験できないホッケー競技を十分に満喫できたと思います。



今日の体験がきっかけとなり、将来、レッドスパークスやオリンピック日本代表で活躍する選手が出てくることに期待しています。今回も広島県小学生体育連盟の先生方、T&TWAMサポート株式会社のトレーナーの方など、多くの方々にご支援・ご協力いただきました。ありがとうございました。